

アクティブスピーカー システム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-U10

© 2006 Sony Corporation Printed in China

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

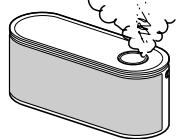
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② ACパワーアダプターを抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



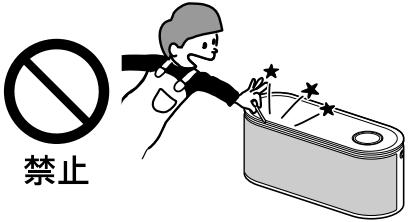
行為を禁止する記号



△警告 下記の注意事項を守らないと 火災・感電により 大けがの原因となります。

内部に水や異物を入れない

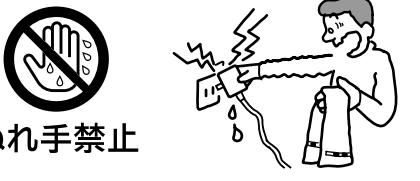
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

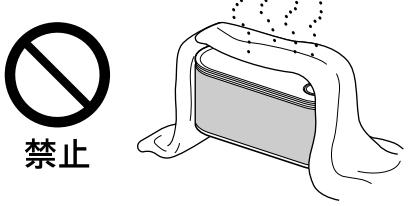
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプターを布団などでお おった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

△注意 下記の注意事項を守らないと けがをしたり周辺の家財に 損害を与えることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とともに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



禁止

主な仕様

スピーカー部	フルレンジバスレフ型 防磁型 (JEITA*) 直径48 mm	付属品	スタンドカバー (1) スタンド (1) ACパワーアダプター (1) 取扱説明書 (1) 保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)
使用スピーカー	4 Ω	別売りアクセサリー	プラグアダプター PC-234S (ステレオ標準 プラグ ↔ ステレオミニ ジャック) PC-236MS (ミニプラグ ↔ ステレオミニジャック) 接続コード RK-G136 (ステレオミニ プラグ ↔ ステレオミニブ ラグ) RK-G138 (ステレオ2ウェ イブルグ ↔ ステレオミニ ジャック)
インピーダンス	1.8 W		
定格入力	3.6 W		
最大入力	1.8 W + 1.8 W (1 kHz, 4 Ω)		
アンプ部	MEGA BASS回路		
最大出力	ステレオミニプラグ付き入 力コード (約 30 cm) × 1		
音質補正回路	ステレオミニジャック × 1		
入力インピーダンス	4.7 kΩ (1 kHz)		
電源部・その他	DC 6 V、付属のACパワー アダプターを接続して AC100~240 V電源から 使用		
電源	約270 × 105 × 110 mm (幅／高さ／奥行き)		
最大外形寸法	約700 g (スタンドカバー含む)		
質量			本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更 することがあります。ご了承ください。

* JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について :

付属のACパワーアダプターをお使いになると
きは、家庭用電源コンセント (AC100~240 V)
につないでお使いください。

ACパワーアダプターについて :

ACパワーアダプターを抜くときは、コードを
引っ張らずに、必ずACパワーアダプターを
持つて抜いてください。

留守にするときは :

本機のPOWERスイッチをOFFにしただけでは、
電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、
必ずACパワーアダプターをコンセントから
抜いてください。

異物について :

特に、ジャックには異物を入れないでください。

故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら :

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中
に入ったときは、すぐにACパワーアダプターを
抜き、お買い上げ店またはソニーサービス
窓口にご相談ください。

取り扱い上の注意

• スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。

• キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を
少し含ませた柔らかい布でふいてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使
わないでください。

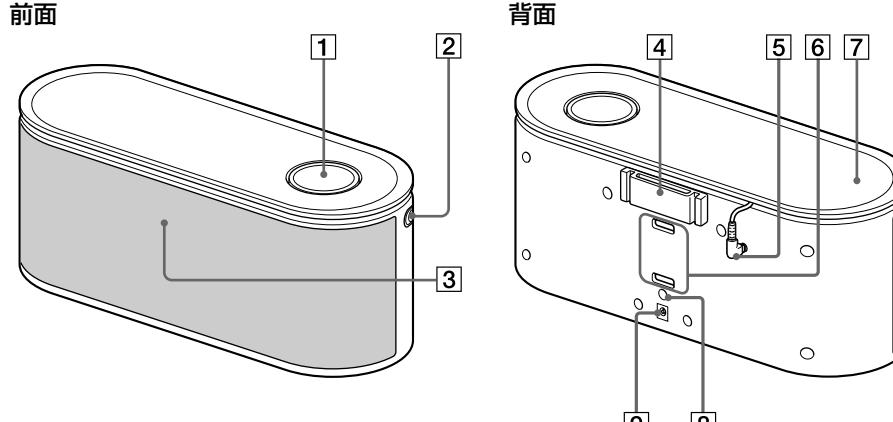
モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型(JEITA*)の ため、モニターのそばに置いて使うことがで きますが、モニターの種類により色むらが起 こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15~30分後
に再び電源を入れてください。
それでも色むらが残るときは
スピーカーをさらにモニターから離してください。
さらに
スピーカーの近くに磁気を発生するものがな
いようにご注意ください。スピーカーとの相
互作用により、色むらを起こす場合がありま
す。
磁気を発生する物
ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康
器具、玩具などに使われている磁石など。

各部のなまえ



- ① VOLUMEダイヤル
音量を調節します。
- ② POWERスイッチ
③ POWERランプ
④ スタンド取り付け部
⑤ INPUT 1
ステレオミニプラグ付き入力コード
- ⑥ スタンドカバー取り付け穴
⑦ レイ
⑧ INPUT 2
⑨ DC IN 6 Vジャック
付属のACパワーアダプターをつなぎます。

接続と設置

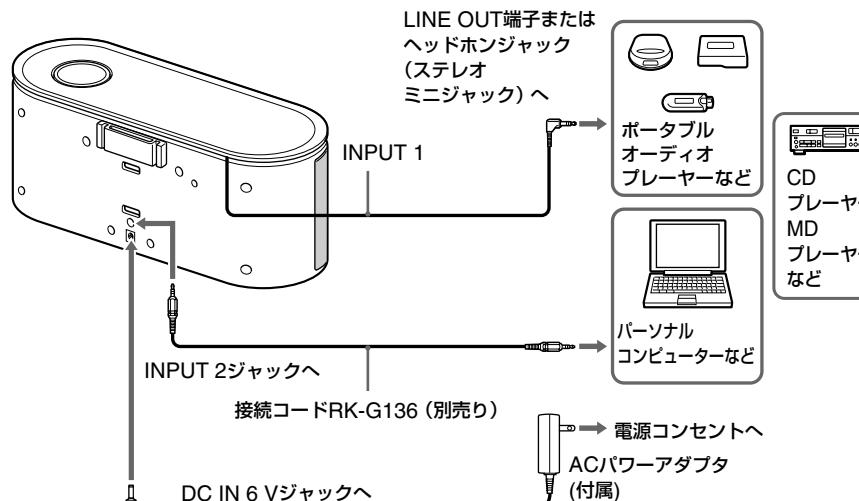
1 ACパワーアダプターを本機に接続する

ご注意

- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。付属以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を防ぐために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。



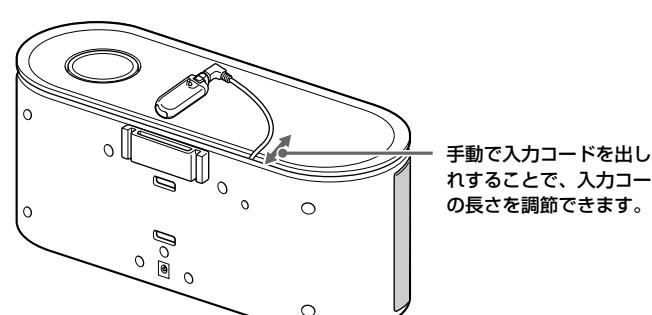
2 本機をお聞きになる機器に接続する

ラジオなどのモノラルジャックがないときは、左側からしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音ができます。

標準タイプのヘッドホンジャック(カセットデッキなど)につなぐには
別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続コードRK-G138をお使いください。

ヒント

本機のトレイ部には、柔らかい素材を使用しています。INPUT 1につないだポータブルプレーヤーなどをトレイに置いてお使いになると便利です。入力コードの長さは、手動で調節できます(約30 cm)。ただし、携帯電話など電波を発生する機器をトレイに置いてお使いすると、オートパワー機能を使用できない場合があります。



ご注意

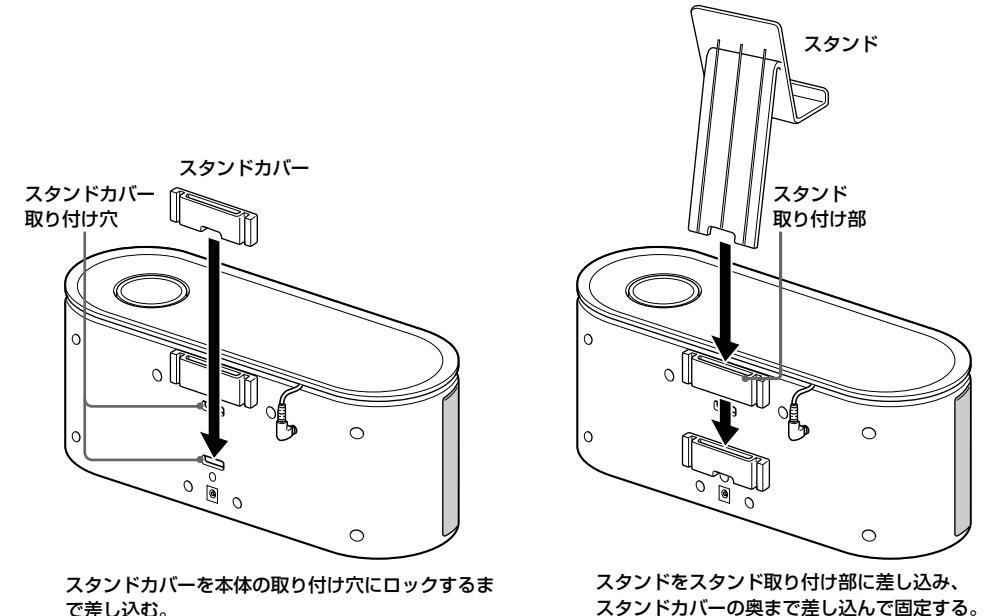
- INPUT 1とINPUT 2の入力切り換えは、接続した機器のON/OFFで行なってください。
- ヘッドホンジャックがLINE OUT端子を兼用している機器に接続した場合は、接続機器の出力をLINE OUT出力に設定することで、より高音質でお楽しみいただけます。

出力設定の操作について詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

ポータブルプレーヤーをたてかけてお使いになるときは

付属のスタンドを図のように取り付けます。ビデオ対応のポータブルプレーヤーをご覧になるときなどに便利です。

スタンドの高さは、スタンドカバーの取り付け位置により調節できます。

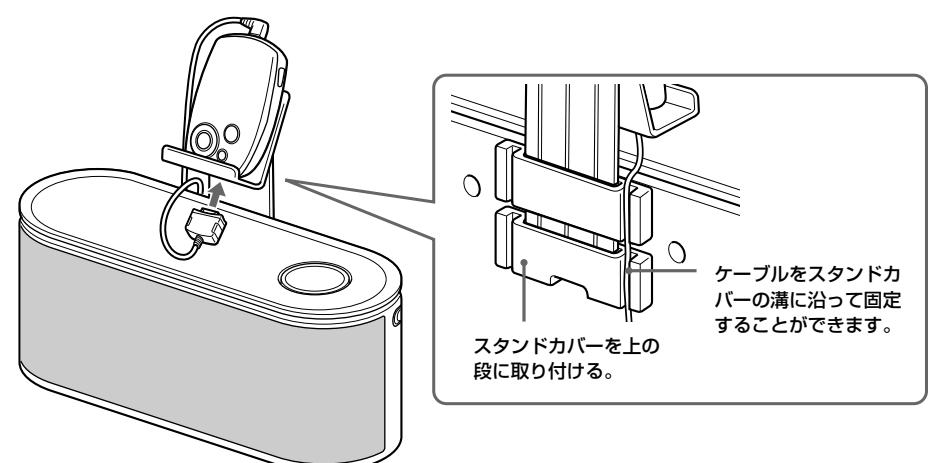


ご注意

- スタンドを通った光は、レンズ効果により屈折して一ヶ所に集まるため、焦点部で火災が発生する原因となります。スタンドを使用しないときは、直射日光などの光源が当たらぬ場所で保管してください。
- ポータブルプレーヤーなどをスタンドに置いたまま操作すると、本機が倒れてしまう場合があります。操作するときは、必ずポータブルプレーヤーを手に持って操作してください。
- ポータブルプレーヤーの形状によっては、スタンドを使用できない場合があります。

ポータブルオーディオプレーヤーなどの付属接続ケーブルをつないだまま使用したいときは

付属のスタンドには、ケーブル接続用の穴が空いています。スタンドカバーを上の段に設置することで、ケーブルをつないだままポータブルオーディオプレーヤーをスタンドに置くことができます。また、ケーブルをスタンドカバーの溝に沿って固定することができます。

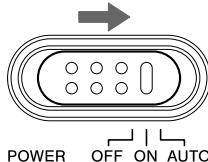


使いかた

突然大きな音が出て耳を痛めないように、本機のVOLUMEダイヤルでスピーカーの音量を最小にしてください。また、スピーカーをヘッドホン出力に接続する場合は、あらかじめ接続した機器の音量を下げておきます。

1 POWERスイッチをONにする。

POWERランプが点灯します。

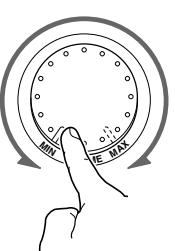


2 接続した機器を再生する。

本機のVOLUMEダイヤルで、スピーカーの音量を調節します。
ヘッドホン出力に接続する場合は、接続した機器の音量も調節します。
聞き終わったら、接続した機器の電源スイッチをオフにしてください。

3 使用後はPOWERスイッチをOFFにする。

POWERランプが消灯します。



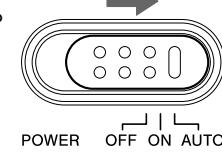
オートパワー機能の使いかた

オートパワー機能を使うと、接続した機器から音声信号が入力されたとき、電源が自動的に入り、POWERランプが点灯します。

また、約90秒*以上入力信号がないと、電源が自動的に切れ、POWERランプが消灯します。

*オートオフする時間は、使用状況により変動することがあります。

1 POWERスイッチをAUTOにする。



ご注意

- 入力信号が小さいと、電源が自動的に入らない場合があります。
- 携帯電話など電波を発生する機器が近くにあると、電源が自動的に入る場合があります。
- 携帯電話などを接続していると、ノイズや着信音などにより電源が自動的に入る場合があります。携帯電話を接続するときは、POWERスイッチをONとOFFに切り換えてお使いください。
- 接続する機器によっては、ノイズなどの影響により、電源が自動的に切れない場合があります。
- INPUT 1に何も接続していないと、電源が自動的に切れない、または、電源が自動的に入る場合があります。
- 入力信号によっては、入力信号の最初の部分が再生されない場合があります。
- お出かけの際は、誤動作防止のため、本機のPOWERスイッチをOFFにしてください。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる、またはノイズが出る	入力信号が大きすぎる。 接続した機器のバスブースト機能を使用している。	接続した機器の音量を下げる。 バスブースト機能を解除する。
接続した機器のヘッドホンジャックに接続している。	接続した機器にLINE OUT端子があるときは、LINE OUT端子に接続する。	接続した機器にLINE OUT端子があるときは、LINE OUT端子に接続する。
入力コードがしっかりと接続されていない。	入力コードを確実に接続する。	入力コードを確実に接続する。
テレビに近すぎる所に設置されている。	テレビから離して設置する。	テレビから離して設置する。
音が小さい、または音が出ない	POWERスイッチがOFFになっている。 VOLUMEダイヤルが最小に絞られている。	POWERスイッチをONにする。 VOLUMEダイヤルで調節する。
入力コードがしっかりと接続されていない。	入力コードを確実に接続する。	入力コードを確実に接続する。
入力信号が小さすぎる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。POWERスイッチをONに切り換える。
POWERランプがちらつく	音量を上げたときにPOWERランプがちらつくことがあります、故障ではありません。	POWERランプがちらつくことがあります、故障ではありません。
オートパワー機能使用時、電源が自動的に入らない	入力信号が小さすぎる。	ヘッドホンジャックに接続した場合は、接続した機器の音量を上げる。LINE OUT端子に接続した場合は、POWERスイッチをONに切り換える。
オートパワー機能使用時、電源が自動的に切れない	INPUT 1に何も接続していない。	INPUT 1に、お聞きになる機器を接続する。
	接続した機器によっては、外來ノイズなどの影響により電源が自動的に切れない場合がある。	本機の設置場所を変える。 本機と接続した機器を離して設置する。 本機を、携帯電話など強い電波を発生する機器から離して設置する。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティビスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間に修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル0120-333-020	フリーダイヤル0120-222-330
携帯電話・PHS一部のIP電話0466-31-2511	携帯電話・PHS一部のIP電話0466-31-2531

※取扱説書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1